



TRY

日本フリスビードッグ協会会報機関誌



特集 1996年上半期結果発表

- 日本の皆さんへメッセージ
ピーターブルーム
- フリスビードッグ協会スケジュール
- 読者のお便りコーナー

1996 AUG
創刊第2号 Vol.2



クラブメンバーへメッセージ

ピーター・ブルーム

御存知の方もいると思いますが、私はこの夏、帯広市の十勝毎日新聞社主催の“'96ふれあいペットランド”でクリニックとショーをする為に、日本を訪れました。いつもと同じ様に、たくさんのメンバーに会えることができ、そして皆さんがさらにうまくなっていることにいつもながら感激しました。

日本フリスビードッグ協会は、アメリカにひけをとらないレベルの競技会を行っていましたし、そんなプロ意識のあるクラブと一緒に仕事をすることができることをとても誇りに思っています。この秋にまた日本へ行った時、私のクリニックやファイナル戦で、たくさんのメンバーに会えることを楽しみにしています。

あなたが気にしていること、嫌だと思っていること、フリスビードッグをもっと

発展させる為に必要な物とか、もっと良い方法があったら、何でもいいですから是非教えて下さい。私達は、このクラブができるベストを提供したいと思っています。

私が何度も言っている心構えを覚えていますか？ 練習を一生懸命にする事、色々な試みをしてみる事、あなたの犬を愛すること、自分がこのスポーツにどうやって貢献していけるかを考える事です。例えば、ボランティアで犬のクラブ、キャンプ、スクール等でショーやクリニックをしたりするのはどうでしょうか。私達が愛して止まないスポーツを他の人達に見せたり教えたりするのは、あなたとあなたの愛犬にとってとても良い経験となるし、とっても楽しいことだと思いますよ。

ピーター・ブルーム

【お知らせ】

10月中旬ピーターブルーム氏 再来日
96年度公式シリーズ戦（10月27日予定）出席、各地区で行われるイベントのフリスビードッグショー出演、フリスビーのスローイング指導、フリスビードッグの指導、フリスビードッグ・フリースタイル模擬競技会の審査と指導、そして、かねてから課題となっていたフリスビードッグ協会インストラクター認定会の講師の為（一泊二日コース予定）

詳しくは、特別号にてお知らせいたします。

※フリスビー特別販売

シール（中心の部分）対応のフリスビーが若干残数がありますので、今回特別セールを行います。

限定400枚のみで10枚単位で4,000円で販売いたします。色は白のみです。（無くなり次第終了となります。）

ワンワンギャラリー



ミカン
（ゴールデンレトリバー）

ミカンも6月にお母さんになりました。
6匹のかわいい仔犬です。

柿本とみ子様
山口県宇部市



日本フリスビードッグ協会 1996年度スケジュール

9月16日(祝) 公式シリーズ第6戦…東海地区(静岡内定)
10月6日(日) 公式シリーズ第7戦…神戸市
10月10日(祝) チャレンジカップ…千葉県浦安市
10月27日(日) 公式シリーズファイナル戦(関東地区)

その他

9月22日(日) チャレンジカップ(北海道千歳市)
10月6日(日) フリスビードッグデモンストレーション(埼玉県鴻巣市)
10月13日(日) チャレンジカップ、トーナメント戦(新潟県長岡市)予定
11月2日(土) or 11月3日(日) フリスビードッグフェスティバル(東京都)予定

10月21日～11月8日の間に、日本フリスビードッグ協会認定インストラクター講習会(初心者用)及び認定会を実施いたします。講師は会長ピーターブルーム氏

1996年8月末日現在

スケジュール等は変更になる場合があります。
詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

1996年度公式戦参加規約

■年間公式戦は7回開催されます。その全てに於いて以下の参加規約を設けますので参加者は以下の点に充分留意して下さい。

- 1) 公式戦参加資格は日本フリスビードッグ協会会員メンバーである事とする。
- 2) 公式戦に参加する事の出来る愛犬は日本フリスビードッグ協会に事前登録された愛犬のみとする。未登録犬のエントリーが目立ってきましたが、登録犬以外の出場は一切認められていませんのでご了承下さい。
- 3) 1名につき協会入会時2頭まで登録を行うことが出来るが、2頭以上所有の会員がその登録変更を行う場合は、個人の所有犬であることを証明できる書類等を添付の上、協会まで変更届を提出する事とする。協会が上記届出を受理・認知した月日より2ヶ月経過した後、その愛犬に公式戦出場権利が発生する事とする。既に1頭登録済みの会員が1頭登録追加する場合も上記と同様の扱いとする。(変更は特別の事がない限り1年に1回までとする。)(4月19日より実施。但し、新規入会の方はこの限りではありません。)
- 4) 発情期：シーズン中の愛犬は出場、観戦出来ない事とする。
- 5) 公式戦ジャッジに関しては公正を記すものとする。
- 6) 当日配布されるフリスビー以外での出場は出来ないものとする。
- 7) ファイナル戦は40チームで行われる。公式戦最終戦が終了した段階で96年度ファイナル戦出場チームが決定されるが、40チームに満たない場合は年間獲得ポイント総計の高いチームからノミネート調整を行う。(ポイントに関しては別記ポイント獲得表を参照して下さい。)
- 8) ファイナル戦決勝ラウンドは10チームで行うものとするが、1オーナー：1チームを基本とし、1人のオーナーで2頭の愛犬が

残った場合はどちらか1頭をセレクトするか、家族の者が(愛犬と同じ家で生活をとともにしているもの)が1頭の代理を務めるか選ばなくてはならない。

- 9) 手袋等の使用は認めます。

[ファイナル戦参加資格獲得順位と各順位ポイント表]

公 式 戦 1 ～ 7 戦	優先出場権	得られるポイント				
		5P	4P	3P	2P	1P
50チーム以上 の出場	1～5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
35～49チーム の出場	1～4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位
34チーム以下 の出場	1～3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
ポイントに 関係なく出 場権が与え られます。		シーズン終了時に高ポイントの 2戦分を足したものが、あなた のシリーズポイントとなり上位 ポイント順に出場権が与えられ ます。				

チャレンジカップ参加条件

■チャレンジカップとは勝敗を競う場ではありません。フリスビードッグという愛犬とのコミュニケーションスポーツを多くの愛犬家同志が伴に楽しみ、親交を深める場なのです。但し最低条件のモラルとも言えるべき参加条件を以下に明記いたします。

- 1) 参加できるのは愛犬家として良識を持っている人、全てです。
- 2) 1頭の愛犬で親子・夫婦等、家族の方なら何人でもチャレンジ出来ます。

- 3) 基本的には遊びと言っても競技ですからノーリードが基本です。但し協会に事前申請が行われた場合に限りロングリードも可とします。ロングリード使用に際してもロングリードによる引き戻しは不可とします。しかしながら、他の愛犬等に迷惑がかからない範囲での餌や好物等による呼び戻しは可とします。
- 4) 競技コート内にオーナー以外にも他に1名のみ補佐付き添いとして入ることが出来ますが、原則的にハンドリングは一名一頭とします。

3月24日(日) 公式シリーズ 第1戦 栃木県小山市 思川緑地大会

公式1戦コメント

公式第1戦と言う事で90チームのエントリーを数える大会となった。会場は、小山市の協力を得て思川緑地。管理のゆきとどいた芝生のフィールドをお借りしての大会となりました。当日は、ひさびさの公式戦とあって朝早くから、出場チームが集まり、今年のシリーズ戦にける意気込みが見られました。

競技の方は、コートサイズの変更により、昨年までのサイズより、全体で10m長くなり、出場チームは、各チームごとに作戦を立て、距離で戦うか、それとも、回数で戦うかを考えていました。実際に、コートのスローイングラインに立ってみると、10mの距離は意外と長く感じられた様です。競技終了後には、次回に向けてロングにフリスビーが投げられる様練習するぞと話している選手が多く見られました。

優勝は、地元栃木の島田薫・カイチームでファイナル戦ノミネートの第1号となりました。天候にも恵まれ、シリーズ戦として、良い1日でした。

エントリー 90チーム 当日出場 83チーム 決勝進出チーム 11チーム

総合順位

優勝	No.83	島田カイチーム	46 ポイント (栃木)	ファイナル戦出場権獲得
2位	No.71	若林キティチーム	44 ポイント (埼玉)	//
3位	No.53	塚崎カイチーム	42 ポイント (京都)	//
4位	No.18	小佐野アンジェラチーム	41 ポイント (栃木)	//
5位	No.34	辻ななチーム	41 ポイント (群馬)	//
6位	No.40	真中ルビーチーム	37 ポイント (千葉)	5 P
7位	No.86	斎藤トマスチーム	37 ポイント (埼玉)	4 P
8位	No.31	早川ガムチーム	36 ポイント (千葉)	3 P
9位	No.81	真中イエスターチーム	33 ポイント (千葉)	3 P
10位	No.85	湯澤ナツチーム	31 ポイント (栃木)	1 P
11位	No.85	権藤ティオーチーム	25 ポイント (東京)	1 P

4/29(祭) '96公式シリーズ 第2戦 東京都昭島市昭和公園大会

公式2戦コメント

公式第2戦は、東京都昭島市の協力のもと、昭和公園でエントリー94チームで開催されました。ゴールデンウィーク中の開催とあってピクニック気分の出場者やギャラリーでにぎわいを見せました。

競技の方は、多少風が舞うコンディションの中行なわれましたが、出場チームも日頃より、風に対するトレーニングを重ねている様で、それほど風に悩まされる事なく順調に行なわれました。優勝は、第一戦で2ポイント差で優勝を逃した若林暢俊・キティチーム、2位は、見ごとなジャンピングキャッチを見せ、会場を沸した村上弘・ジッピーチーム、3位は、京都より遠征の塚崎誠次、モネチームとなりました。

エントリー 94チーム 当日出場 90チーム 決勝進出チーム 10チーム

1位	No.25	若林キティチーム	60 ポイント (埼玉)◎	ファイナル戦出場権獲得
2位	No.46	村上ジッピーチーム	53 ポイント (東京)	//
3位	No.31	塚崎モネチーム	48 ポイント (京都)	//
4位	No.63	井上デージーチーム	43 ポイント (東京)	//
5位	No.40	飯塚潤子チーム	41 ポイント (栃木)	//
6位	No.38	江頭ローラ	41 ポイント (東京)	//
7位	No. 1	高野マイ	38 ポイント (東京)	// 4 P
8位	No.11	高野ラン	37 ポイント (東京)	// 3 P
9位	No.28	上瀧チャラ	35 ポイント (千葉)	// 2 P
10位	No.62	白井フェンディ	31 ポイント (東京)	// 1 P

◎印は、出場権を重複して獲得しているチームのため次位ポイントのチームがくりあがり、優先出場権が与えられます。

FRISBEE DOG EVENT

'96公式シリーズ 第1戦~第5戦 結果発表

公式戦も第1戦から第5戦までが終わり残すところあと2戦となりました。今回は、前半に行われた公式シリーズ戦及びチャレンジカップを中心にまとめました。

また、後半戦は9月の中旬より行いますのでふってご参加ください。

皆さんと会える日を楽しみにしております。



5/12(日) '96公式シリーズ 第3戦

新潟県新潟市阿賀野川
河川公園大会

公式3戦コメント

公式第3戦は関東から、会場を新潟市に移して行なわれました。当日は、小雨の天候で、コートは芝も滑りやすく、出場チームを悩ます事になりましたが、それも、競技のおもしろさではないでしょうか。競技の方は、小雨の中各チームごとに行なわれ、雨で濡れたフリスビーを思うようにスローイング出来ない選手も何人かいましたが、確実にポイントを重ね、杉本一也・キャンディチームが優勝、2位は、昨年ファイナル大会準優勝の能代谷正次・リッキーチーム、第3位は塚崎誠次・モネチームとなり、上位3チームともG・シェパードが表彰を受ける結果となりました。大型犬ゆえにスピードが乗ると、止まりずらく、滑る芝生の上での競技となった大会ですが、フリスビーと、愛犬をうまくコントロール出来た3チームの、技術が光る大会でもありました。

エントリー 38チーム 当日出場 34チーム 決勝進出チーム 9チーム

第1位	No.19	杉本キャンディー	36ポイント(栃木)	ファイナル戦出場獲得
第2位	No.2	能代谷リッキー	35ポイント(東京)	//
第3位	No.25	塚崎モネ	31ポイント(京都)◎	//
第4位	No.22	堀口ケント	29ポイント(神奈川)	//
第5位	No.23	高野ラン	29ポイント(東京)	//
第6位	No.9	須藤チット	28ポイント(新潟)	4P
第7位	No.7	高野マイ	27ポイント(東京)	3P
第8位	No.27	江頭エリーゼ	20ポイント(東京)	2P
第9位	No.36	榎藤ティオー	19ポイント(東京)	1P



6/2(日) '96公式シリーズ 第4戦

東京都世田谷区兵庫島
河川公園大会

公式4戦コメント

公式第4戦は、協会スポンサーのペディグリーチャム主催イベント「ワークドッグウィーク in TAMAGAWA」内での開催となりました。当日は、二子玉川と言う場所と、イベント期間中と言う事で、多くのギャラリーがおとすれての大会となりました。多摩川のすぐ横とあって、体温を下げる目的? それとも、我慢出来ずに? 川に飛び込んで泳ぐ犬達が続出!! レトリバー一種の出場が多い大会だけに「犬かき選手権大会」も出来る様な風景でした。競技の方は、河川公園特有? の風が得点に大きく影響し、普段の半分位しか点数が取れずに伸び悩むチームが大半。1点のポイントが大きく左右する競技となりました。優勝者は、小泉和治・バベルチームが公式戦 初優勝、以下33ポイントで3チームが並びました。

エントリー 81チーム 当日出場 78チーム 決勝進出チーム 11チーム

第1位	No.39	小泉バベルチーム	35ポイント(東京)	ファイナル戦出場権獲得
第2位	No.30	若林キティチーム	33ポイント(埼玉)◎	//
第3位	No.37	塚崎モネチーム	33ポイント(京都)◎	//
第4位	No.79	高野ランチーム	33ポイント(東京)◎	//
第5位	No.10	勝田ジンチーム	29ポイント(東京)	//
第6位	No.66	佐藤リッティチーム	26ポイント(千葉)	//
第7位	No.69	高野マイチーム	25ポイント(東京)	//
第8位	No.4	上瀧チャラチーム	25ポイント(千葉)	//
第9位	No.16	江頭エリーゼチーム	23ポイント(東京)	3P
第10位	No.45	山本ゆうチーム	22ポイント(東京)	2P
第11位	No.1	大石ルーシーチーム	22ポイント(東京)	1P



7/7(日) '96公式シリーズ 第5戦 北海道帯広市札内川河川敷大会

公式5戦コメント

七夕の7月7日、北海道での初めての公式戦開催。2万人のギャラリーを集めたこの大会は、十勝毎日新聞社主催の「'96 ふれあい、ペットランド」イベント内での開催で、会長のピーター・ブルームも来日しての大会となりました。昨年から始まったこのイベント、昨年は、ピーターによるクリニック教室とデモンストレーションを行ない道内のフリスビードッグファンを育ててきました。そして、今年は、チャレンジカップも同時開催しての公式戦開催となりました。一年前にクリニックや HOW TO を教わった人達が上手になってエントリーして来たのを見て大変うれしく思う大会でした。競技は、初の大会とあって、多少不慣れの所もありましたがチャレンジカップと公式戦合わせて49チームのエントリーがあり、大変盛り上がる大会となりました。

道内はもとより、道外より多くのエントリーがあった事も大変うれしい大会でした。成績は、今年のシリーズ戦フルエントリー東京都の高野寿・ランチームが念願の公式戦優勝、2位は埼玉県から、エントリーの若林・キティチームと続き、地元北海道は、田丸和利・ジョリーチームが4位入賞をはたしました。

エントリー 23チーム 当日出場 21チーム 決勝進出チーム 9チーム

第1位	No. 7	高野ランチーム	62ポイント (東京)◎	ファイナル戦出場権獲得
第2位	No. 13	若林キティチーム	46ポイント (埼玉)◎	//
第3位	No. 2	高野マイチーム	46ポイント (東京)	//
第4位	No. 19	田丸ジョリーチーム	45ポイント (北海道)	//
第5位	No. 8	大石ルーシーチーム	35ポイント (東京)	//
第6位	No. 3	岩尾ジャムチーム	32ポイント (北海道)	4 P
第7位	No. 22	村中ダンクチーム	32ポイント (北海道)	3 P
第8位	No. 14	今野プリンチーム	31ポイント (北海道)	2 P
第9位	No. 6	渡辺スイートチーム	29ポイント (新潟)	1 P



チャレンジカップ等 結果発表

6月9日(日) 神奈川県寒川町 第1回公式トーナメント大会

26チーム

優勝	高野 寿	マイチーム
準優勝	江頭 孝司	ローラチーム
第3位	内藤 徹	パニラチーム
入賞	村上 行広	ジッピーチーム
	笹子 雅司	てつチーム
	江頭 孝司	エリーゼチーム

○'96年度公式シリーズ ファイナル戦及び、 チャレンジカップ戦

ノミネートチーム(予定)をお知らせいたします。

第1戦より	
島田カイチーム	(1位)
若林キティチーム	(2位)
塚崎カイチーム	(3位)
小佐野アンジェラチーム	(4位)
辻ななチーム	(5位)
第2戦より	
村上ジッピーチーム	(2位)
塚崎モネチーム	(3位)
井上デージーチーム	(4位)
飯塚潤子チーム	(5位)
江頭ローラチーム	(6位)
(1位若林キティチームによる繰り上げ)	
第3戦より	
杉本キャンディーチーム	(1位)
能代谷リッキーチーム	(2位)
堀口セントチーム	(4位)

高野ランチーム	(5位)
(3位塚崎モネチームによる繰り上げ)	
第4戦より	
小泉バベルチーム	(1位)
勝田ジンチーム	(5位)
佐藤リッティチーム	(6位)
高田マイチーム	(7位)
上瀧チャラチーム	(8位)
(2位若林チーム、3位塚崎チーム、4位高野チームが、すでに権利を持っているためによる繰り下げ)	
第5戦より	
田丸ジョリーチーム	(4位)
大石ルーシーチーム	(5位)
岩尾ジャムチーム	(6位)
(上位1位から3位間でのチームがすでに権利を持っているためによる繰り上げ)	
トーナメント戦	
内藤パニラチーム	(3位)
○公式シリーズファイナル戦その他ランキング	
真中ルビーチーム	(5 P)
斉藤トーマスチーム	(4 P)
須藤チットチーム	(4 P)
早川ガムチーム	(3 P)
笹子てつチーム	(3 P)
(トーナメント戦入賞)	
江頭エリーゼチーム	(3 P)
(トーナメント戦入賞)	
村中ダンクチーム	(2 P)
真中イエスターチーム	(2 P)
江頭エリーゼチーム	(2 P)
江頭エリーゼチーム	(2 P)
今野プリンチーム	(1 P)
湯澤ツナチーム	(1 P)
権藤ティオーチーム	(1 P)
白井フェンディチーム	(1 P)
山本ゆうチーム	(1 P)

2月4日(日) 静岡県富士市 第1回チャレンジカップ 37チーム

第1位	内海パニラチーム	51P
第2位	細見ディノチーム	47P
第3位	上瀧チャラチーム	45P
第4位	大西シンディーチーム	44P
第5位	堀口セントチーム	41P
以下	清水アンディチーム	39P
	大石ルーシーチーム	33P
	大久保ゴンチーム	26P
	長谷川ジェスパチーム	24P
	野村リキチーム	22P
	長谷川アレックスチーム	22P
	勝田ジンチーム	21P

他、当日スタッフチーム(順位には無関係)
高野ラン 71P
高野レイ 48P
山田ハイザー 41P

2月18日(日) 新潟県十日町市 第2回チャレンジカップ 20チーム

(リミット制) 1ラウンド制

「第4回・犬ぞりフェスタ IN 十日町雪まつり」イベント内

第1位	高野ランチーム	33P
第2位	石川ポチチーム	26P
第3位	江頭ローラチーム	25P
第4位	川野さくらチーム	20P
第5位	牧野キムタロウチーム	18P
	権藤テイオーチーム	18P
第7位	中園我王チーム	17P
	山田ハイザーチーム	17P
第9位	長谷川アレックスチーム	16P

3月3日(日) 茨城県古河市 第3回チャレンジカップ 51チーム

	予選ポイント	総合ポイント
第1位	黒川シーマチーム	29P 53P
第2位	能代谷リッキーチーム	34P 49P
第3位	安藤ジェスターチーム	39P 41P
第4位	斉藤トーマスチーム	28P 28P
第5位	長谷川ジェスパチーム	27P 27P

以下、予選ラウンド上位チーム
福田ルナチーム 22P
長谷川クムチーム 16P
高倉マックスチーム 16P
池永ラルチーム 15P
川野サクラチーム 15P

5月19日(日) 滋賀県草津市 第4回チャレンジカップ 29チーム

2ラウンド制

(アダルトの部)

第1位	団野ケーブチーム	52P
第2位	近藤フレッドチーム	26P
第3位	北畑アルチーム	24P
第4位	戸所グランディチーム	23P
第5位	牧野ルイチーム	21P

以下、上位チーム
西村ビートチーム 20P
内藤大輔チーム 19P

スタッフ(参考)

高野チーム	42P
塚崎チーム	23P
山田チーム	20P

(レディース、チャイルドの部)

エントリー18チーム

第1位	福本エールチーム	19P
第2位	横山Q太郎チーム	16P
第3位	北野メイチーム	15P
第4位	角野シイタチーム	11P
第5位	戸所グランディチーム	11P
第6位	植田ラッキーチーム	9P
第7位	西村ピーチーム	9P

6月9日(日) 神奈川県寒川町 第5回チャレンジカップ 70チーム

第1位	江頭ローラチーム	52P	81P(東京)
第2位	江頭エリーゼチーム	39P	67P(東京)
第3位	長谷川ジェスパチーム	38P	66P(東京)
第4位	内海パニラチーム	35P	64P(静岡)
第5位	安積エリーチーム	44P	55P(神奈川)
第6位	村山ピアン	35P	53P(東京)

予選ラウンド上位チーム

園田ハリー	34P	高野キャスター	28P
小菅セーラ	28P	小林メイ	28P
神尾ディーヴォ	27P	川野サクラ	25P
大久保ゴン	24P	関水セーラ	23P
江島ボブ	22P	細見ディノ	21P
小笠原アンディ	20P	高野アイ	19P
太田アジャ	19P	池田ミュー	18P
田辺ふく	17P	原田クー	16P
森井フィリア	16P	北嶋ドル	16P
近藤バグ	15P	山崎サンダー	15P

6月16日(日) 兵庫県播磨中央公園 第6回チャレンジカップ 43チーム

予選ポイント 総合ポイント

第1位	杉岡サッピィチーム	49P	60P
第2位	北野メイチーム	33P	56P
第3位	八木ロビチーム	45P	50P
第4位	菅本たい子チーム	35P	47P
第5位	佐倉ウランチーム	31P	44P
第6位	戸所グランディチーム	33P	44P
第7位	北畑アルチーム	34P	41P

以下、予選ラウンド上位チーム

三木マイケルチーム	29P
鈴木ベティーチーム	29P
高嶋ブリードチーム	27P
菅本ショウチーム	26P
近藤フレッドチーム	26P

7月7日(日) 北海道帯広市 第7回チャレンジカップ 26チーム

順位		予選ポイント	総合ポイント
第1位	大石ルーシーチーム	45P	61P(東京)
第2位	仲澤ピッチチーム	47P	58P(北海道)
第3位	権藤テイオーチーム	33P	55P(東京)
第4位	高橋モティチーム	45P	55P(北海道)
第5位	江口ジョクチーム	45P	50P(北海道)

以下、予選ラウンド上位チーム

中川アンチーム	28P
藤井タッセルチーム	27P
堤ランサーチーム	27P
平井クィニーチーム	27P
島メリノチーム	20P

募集コーナー

Q&Aコーナー大募集

今回のQ&Aコーナーはどうでしたか?
会員の皆さんからお電話で協会によくご質問をいただきます。

それはフリスビーの投げ方から愛犬の犬種まで広範囲なご質問です。

多分、多くの会員の皆さんが多くの疑問をお持ちだと思います。

協会には各分野の専門スタッフが多く参加しています。

ナンでもご質問下さい。お答えできる範囲で誌上でお答えいたします。

講習会：指導会開催大募集

貴方の回りに何人の愛犬家がありますか?

何人かで集まってフリスビーを楽しんではいませんか?

でも、本でも、ビデオでも今一コツがつかめないで悩んでいませんか?

そんな方々は協会までご連絡下さい。

1) 代表者氏名・連絡先

2) 何名講習希望なのか

3) 場所の有無をお知らせ下さい。

出来る限り対処いたしたいと思います。

ご意見・ご希望・イラスト・愛犬との写真大募集!

今回から発刊される新機関誌は従来会の会報とは違い会員の皆さんと伴に作って行く雑誌です。

皆さんからの多くの情報、お手紙等で作られて行く雑誌です。

葉書、お手紙、FAXナンでもどしどし送って下さい。

会員の皆さんの積極的な御参加をお待ちしています。



幸せを 振りまく犬



写真①



写真②

ジェルミ・エンジェル

どこへ行こうと、だれと出会おうと、お日様の光を放ち、人類の心に元気と笑顔の種子を振りまくような犬を、ご存知ですか？

むろん、「うちの子もそうよ」と言う飼い主は多いだろう。しかし他人の犬はどうだろうか？ ここで紹介したいのは正しく、だれが見ても、「これこそ様子を幸せにするために生まれた」ような、太陽光噴出機のような犬である。

名前はギルバート。アトランタ市在住の弁護士、ジェッフ・ペリーが飼っている8匹の元捨て犬の親分格だ。ホルスタイン牛のような白黒模様で、猟犬の血が多く入り交じった雑種。ジェッフと一緒に1989年の世界フリスビー犬大会の優勝者だが、この大会の歴代チャンピオン犬の中で、雑種はおそらくギルバートだけと思う。

僕がギルバートに一目惚れしたのは、1993年の冬、JFA会長ピーターと、犬フリスビーを通して大の友人になったジェッフが婦人と犬連れで、フジテレビ主催の大会に特別出演するために来日した時だ。犬の在宅検疫の2週間を、わが家で過ごす事になった。ピーターの犬、マジックは素晴らしい業を色々披露してくれたが、牧羊犬持ち前の神経質、落ち着きの無さで、ピーターでさえ日頃の管理に手を焼いている様子だった。

それに比べて、ギルバードはおっとりとしていて、まったく手がかからなかった。たちまちわが4人のちび子たちのアイドルになり、彼らの希望で子供部屋はギルバートの「お城」に化けた。部屋を一周して、ギルバートはあたかも「いいぞ、いいぞ、気に入ったぞ」と言っているかのように、長女のベッドにぴょんと上がり、丸くなった。長女はもちろん感無量で、滞在中ずっと抱いて寝ていた。

昼間は昼間で、ギルバートはとことん子供たちのおもちゃにされたが、いくら振り回されても相手を拒む事は一度もなかった。

例えば彼の得意芸の一つは横返りだ。人間が指先をくるくる回すだけで横に一回転する

簡単な芸だが、命令を出す人がたとえ当時まだ2歳だった次男でも、ギルバードは喜んで応じるのだった。

わがちび子はたちが最初その芸を教わった時、交代交代で本当に何十回もさせたので、「君たちがそうしたいなら、倒れるまでいくらでも付き合ってるよ」と、拒む気配をまったく示さない。結局飽きてやめてしまったのはギルバードではなく、子供達の方だった。

もちろん、フリスビーであれボールであれ、人間がなにか投げたものを手にすると、ギルバードはたちまち目の色を変えた。もう9才だったのに、ぜんぜん疲れを知らない。しかし、「もうこの辺で終わりにしよう」と言って、おもちゃを取り上げると、「そう？ よし、分かった」と言うような表情をして納得する。本当に物わかりいい犬だった。

去年、ワシントンでの1995年世界大会で、ジェッフとギルバートと再会した。ギルバートは、鼻すらの白髪がちょっとふえたものの、それ以外衰えはまったく見当たらなかった。もうとくに競技を引退しているが、今だにPR用のデモンストレーション犬として大活躍している。大会日も、朝早く3件ものテレビ局の取材を立て続けて引き受け、ジェッフが仕込み中の新業まで披露してくれた。11才で新業とは！

そのデモンストレーション後、ジェッフとギルバートと一緒にホテルへ歩いて帰った。途中でギルバートはリスを見かけて飛び出した。延長紐がびゅーっと伸びて、後鼻一つでギルバートの突撃を止めた。リスは尻尾を巻いて木の上に駆け上がった。

「こいつ目！ いつになったら、リスいじめを止めるんだ！」

と、ジェッフは怒って見せた。

ギルバートは、一応耳を倒して謝ってから、「まーだまだだぞ」と言わんばかりに満足げに尾を大きく左右に振りながら先を歩いた。彼はきっと今日も幸せの種子を振りまき続けているだろう。



写真③



写真④

写真：

- ① 富士山を背景に、1993年冬わが家で業を披露するギルバート。
- ② それいけ、ワンダードッグのギルバート。
- ③ わが家でジェッフと業を磨くギルバート。
- ④ 1989年度世界犬フリスビー・チャンピオン、ギルバートとジェッフ・ペリー。

読

者

お

便

り

コー
ナー

寒川でのチャレンジカップに参加し、楽しい時を過ごしました。会員が企画を協会に持ち込み、協会と一緒に運営する方式の大会だということで、公式戦とは違った独自の色があり、場所も広々として、天気も暑くなく、私達も、予戦2回とも2ケタの点をとれ、まあまあ、満足。大満足といかないのは、ミニディスタンスだったのに、12点、15点と、20点台に乗らなかったという個人的な理由です。トーナメント戦は、見ている側にもおもしろく、公式戦観戦中の「長くてアキた」ということが無くて、これからも開催されると良いナと思っています。おスシもたいへんおいしく、2,000円のエントリーフィーは、おトクでした。運営の方々、どうもありがとうございました。一つ気になったことがあります。「チャレンジカップは、勝負とは無関係でだれにでも参加できる」のが基本とはいえ、やはり、公式戦では得点をあげられないチームのチャレンジの場であり、これをステップに公式戦に参加するのを目標とし、ステップアップを目ざす場であると、私は理解しています。昨年のファイナリストとはいえ、今年はコートサイズが変更されたので、公式戦では仲々良い成績をあげられないチー

○協会からM.Kさんへ

その通りと思います。ピーター会長ともこの件について話をしたことがありますが、今年度はこのままで来年度より改訂を行います。

ムもあるのかもしれませんが、とはいえ、昨年ファイナルで3位に入ったチームがチャレンジカップに参加しているのでは、ビギナーや、「投げるのヘタ」のチームは、参加の楽しみが少々うすれます。

JリーグとJFK、プロ野球と学生野球やアマチュア野球、大リーグと3A、オリンピック選手と国体選手、それぞれに、戦うべき「場」があると思うのです。

もちろん、公式戦に参加しても得点をあげられない「一老女」のひがみかもしれませんが。

「勝負はこだわらずに楽しむ」ことができれば、それは一番なのかもしれませんが、誰もが、ある一つの試合で、高成績を残す喜びを一度は味わいたいと思っているのも事実でしょう。対戦相手がだれであれ、個人の得点は不動ですが、順位は相対的なものです。

今後、またチャレンジカップに参加し、できれば、その場で上位入賞したいと思っています。そして、来年は、公式戦に参加したいと考えています。

私自身は、企画運営する能力がありませんが、楽しいチャレンジカップの企画を楽しみにしています。

東京都 M.K

また、トーナメント戦については今後も行っていきます。

(ただし、犬がハードワークになりすぎないように調整をやりながらにと思います。)

チップとめいの フリスビードッグへの挑戦



大河原 正道・香奈美 (埼玉県)

チップ (ウェスティー4才)・めい (スコッチテリア3才)

ちょっとむずかしいと思われる小型犬を飼っています。なぜフリスビーを始めたかと言うと、それは一年ほど前になりますが、若林さんとの出会いから始まりました。(4月の昭島第二戦では、若林&キティ組で優勝をしました。)私も最初は「えーあんな大きなディスクキャッチなんか出来るのかなあー?」くわえて持って来るだけでやっとなのに…」

それに、私も主人もまだまだ投げる事さえるうまく出来ず、私なんか、半ば中途であきらめかけたり、いやがんばれば、うちの子供達にもぜったい出来るはずだ!! と、何度も挫折と挑戦をくり返し、ようやく6ヶ月がたったころ、めいがジャンピングキャッチをするようになり、ついでチップも負けずとキャッチをする事が出来、私は本当に寝ても起きててもフリスビーをキャッチしたチップとめいの事を思い出してはニヤニヤして、「よし今日もガンバルゾー!」と思い一生懸命練習をして、初めて3月3日のチャレンジカップに出場する事にしました。

最初のころは、あまりのる気のしなかった主人も、やがてフリスビードッグの楽しさにひかれて、仕事も忙しい中、朝練をやったりして家族中で、フリスビーに熱中する事が出来ました。

今年は、チャレンジカップ、公式戦共、かなりたくさん参加をして、北海道大会にも行きました。北海道では、けっこうめずらしい犬種や、小型、中型犬ともがんばっているの、ライバルがたくさんいるなあと思いました。

しかし、こうやって、小型犬でもやれば、いろんな事が飼主と楽しめ、競技会にも参加して、多くの愛犬仲間とも知り会え、はげまされて、そして犬達もますます元気で明るくなり、本当にフリスビーをやっている良かったと思います。チップとめいは、あまり大会では、ポイントを上げられないかもしれないけれど、会場を笑顔のうずでなごませて、フリスビードッグの楽しさをつたえる犬達になるのでは……と思っています。

♡ 小型犬を飼っているみなさん、どんな大会に参加して来て下さい。そうしたらぜひ協会スタッフの方々にきちんとルールを作っていただし、ミニのチャレンジ、ミニの公式戦やファイナルなどといった楽しい企画を作って大型犬にまけないぐらいの盛り上がりのある大会が出来事を期待しています!

はじめまして、フリスビードッグは、TVや雑誌で見た事があったのですが、フリスビードッグのビデオを頂いて、トレーニングの方法を知りました。最初の場面では、大きくて、賢い犬だけが出来るものだと思って“すごいなあ”と感心して観ていたんですけど、観ているうちに小さい犬でもトレーニングによって出来る事が分かりました。

実は、私もヨークシャテリアのチョコという犬を飼っているのです。生まれて半年ぐらいで小さいんだけどうちにあるぬいぐるみをなげるとちゃんと持って来るんです。

だから絶対チョコにもトレーニングをすれば出来ると思いました。早速、ちょっと小さめのフリスビーを買って来て挑戦してみようと思います。

出来るようになって海辺とかでチョコとフリスビーをして遊ぶと楽しいだろうな…。

東京都 S.K

先日、犬の雑誌でイギリスのクラフト展のレポート記事を読んだ。最も権威のあるドックショーらしく多くの演出がなされ、ショーを盛り上げているらしい。

フリスビードッグの公式戦もいつの日か「出場する事が名誉」であると言う様な会に成長してほしいと心から願い又努力、協力しようと思っている。

この所の急成長は目を見張る物があるが少しこわい…それと言うのも「試合に勝ちたい為」がどうかはさだかではないが故意に？「ミックス犬」を作ろうとはしてないだろうか？確かに今公認されている犬種も改良に改良を重ねて人間が作り上げ固定した物であるがその過程においておそらく沢山の犬達が犠牲になったはずである。ちっぽけな人間のエゴの為に故意に心ない犬作りはやってはいけないと思う。多くの犠牲となった。犬達の為にも自分の愛犬で自分と犬が努力してそれぞれの犬種の特性を生したプレーを楽しもう!!

沢山の犬種が出てほしい。

その為にもおねがい 優勝、2位 3位……の他にいろんな賞を出して下さい。そしてせめて優勝犬達の表彰式には

1
2
3

 お立ち台があってほしい

まだまだ始まったばかりのフリスビードッグ協会運営の苦しいのは十分知っています。

だからすぐにはとは言いませんがそうなってほしいと思う今日この頃です。

(会員の皆様)

P.S 自分の犬がフリスビーをやらないからと言ってダメ犬なんて決して思わないで
90%以上は人間の数え方、努力のし方が悪いんだヨ
だって、ピーターさんが5分も教えるのとどんな犬でもチャンピオン犬みたいにじょうずにキャッチするもの
クリニックにもふるって参加しよう。

最後に一言

息の長い、品位のある、フリスビードッグ協会に大きく成長します様にガンバロウ

東京都 K.T

編集後記

皆さん、お元気ですか、毎日暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。

久しぶりの機関誌で首を長くしておられる方もいるかと思いますが、漸く着手する時間がとれました。

前半戦の大会も終わり9月より後半戦に入りますが、思っていた様な成績がとれましたか？ 又、思うように遊べましたか？

フリスビードッグは、それぞれに楽しみ方があると思いますが、大会で優勝をする事もひとつの楽しみ方、大会で1点でもとれる事を目標とする事もひとつの楽しみ方、大会に出場する事だけでも、またひとつの楽しみ方ではないでしょうか。あるいは、大会には出場しないが応援や観戦することでの楽しみ方もあってよいのではないのでしょうか。

まだ大会などを体験されたことのない方も御自分たちにあったスタイルで是非、参加をしてみても、いかがでしょうか。新しい仲間が増えることと、楽しい思い出ができる事と思います。

9月下旬より後半戦が始まります。各地区の大会会場などでお会いしましょう。

さて、最近はTVや雑誌等で多くのフリスビードッグ達の活躍が見かけられる様になってきましたが、先日もTV東京の「TVチャンピオン」を皆さんご覧になったのでしょうか？

私達のクラブメンバーが出演していました。その中の2頭は去年の夏、私達の会長ピーター氏と一緒に「'95プロ野球オールスターゲーム」に出演する名誉を与えられた仲間でした。そして、日本フリスビードッグ協会「'95ミニディスタンスチャンピオンシップ」の優勝トロフィーも登場していたり、去年の「オールスターゲーム」のビデオも放送されていました。私達のクラブも有名になったものですね。ただTVの中の競技で、ディスタンスの距離が私達の「チャレンジカップ」と同じでした。どうせなら、タイトル(TVチャンピオン)に、ふさわしい「公式シリーズ戦」と同じ距離だったらもっとよかったですね。

それと番組内でディスクドッグと言われたりしていましたが、「本当の名称はフリスビードッグ」と言うことをTV局の方、事前に教えて差し上げればよかったと思います。皆さんも今後、出演の機会がありましたら宜しくお願いします。(TV局の方もまだ、正しい呼び方を知らない人が多いのです。)これもTVのご愛敬としましょう。又、番組内では、来年より導入予定のフリースタイルもチャレンジしてくれました、ピーター会長の指摘の様に日本では、まだ無理ではという中で、うまくまとめ上げたと思います。

プレーに参加していただいたクラブメンバーの皆さん大変お疲れさまでした。私も経験がありますが同じ事を何回もやり直しながら番組は、作られているので結構疲れるんですよ。

テレビの話はさておき10月27日には、本物のフリスビードッグチャンピオンシップ(日本フリスビードッグ協会'96公式シリーズファイナル戦)があります。皆さんはもちろん、皆さんのお友達で本物の迫力あるフリスビードッグの試合を見たい人がいたら、是非誘って下さい。絶対に期待を裏切らない1日になると思います。(それは、皆さんが一番よく知っていますね。)

日本フリスビードッグ協会 会報機関誌 創刊第2号 vol.2

(季刊発行 年4回発行 特別号 年2回発行)

編集・発行 日本フリスビードッグ協会
印刷 新高速印刷株式会社

協会からのお願いで～す

更新の期日を忘れている方が多いようです。協会からハガキにてご連絡させていただきますので、更新希望の方はお早めに手続きをすませて下さい。

ますますグッズや大会など、又、講習会なども充実してきますのでお楽しみに!!
尚、更新時の年会費は3,000円のみです。

郵便振込み

口座番号 00630-8-3421

口座名 日本フリスビードッグ協会

禁無断転載

ORIGINAL GOODS



会員向け

通信販売 NEWS

①フリスビードッグ公式フリスビー(ディスク)

当協会では、公式ディスクとして本場米国同様、Frisbee®discファーストバックモデルをおすすめします。Frisbee®discファーストバックモデルは、ほとんどの犬がくわえやすい形状で、かつ小さい力で安定した飛行が得られるようにできています。(公認大会はすべて、Frisbee®discファーストバックモデルの使用が義務づけられています。)

日本フリスビードッグ協会公認 ファーストバックフリスビー		
	会員価格	一般価格
9枚以下	1枚 700円	1枚 1,200円
19枚以下	1枚 600円	基本的には会員の 為の販売を目的と しております。
20枚以上	1枚 500円	

※フリスビー及びフリスビードッグはマテル㈱の登録商標です。

- ②Tシャツ2,600円
- ③ウォーターボトル800円
- ④フリスビー用タオル1,200円
- ⑤トレーニングビデオ5,800円
- ⑥トレーニング本1,800円
- ⑦ロングリード(2種類) ...4,000円
- ⑧カーステッカー(以下写真掲載無).....500円
- ⑨ミニフリスビー5枚セット.....1,000円
- ⑩フリスビードッグスローイングビデオ ...4,800円

〈注意点〉

フリスビーによるトレーニングや運動を始める前に必ず愛犬が健康上問題がない事を確認してください。又、フリスビーは必ず道路から離れ、障害物のない野原などで行ってください。ガラスの破片やその他危険物がない事も忘れずに確認してください。

トレーニングにはロングリードなどを利用し、その他地域で決められている動物に関する規則には従うように気をつけてください。又、フリスビーを愛犬に絶体、食べさせないで下さい。

申し込み先

日本フリスビードッグ協会 事務局
TEL 025-285-5680

※申し込み時に必ず会員No.を申告して下さい

上記の価格は、96年9月1日現在のものです。(税込み。送料は別途。デザイン等は変更になる場合もあります。)



「89年FCIアジアインターナショナルドッグショー」ベストインショー他、多数の賞を獲得したチャンピオン犬

チャンピオン犬に生まれたのではなく、
チャンピオン犬に育ったのです。

愛犬のベストコンディションは、チャンピオン犬を
育てる確かな栄養食「ペディグリー チャンム」から。



「ペディグリー チャンム」は、タンパク質、脂肪、炭水化物、ビタミンやカルシウム、リンなどのミネラル、その他必須栄養素が最良のバランスで含まれた成犬のための総合栄養食です。その優れた栄養バランスは、多くのチャンピオン犬を育てつづけていることでも証明されています。厳選された素材のみを使ったことにより、嗜好性も抜群、同時に理想的な消化・吸収性も満たしています。



日本を代表する
ミニチュア・シュナウザーのブリーダー
松井道雄さん

「どの子ももちろん、チャンピオン犬として生まれてくるわけではありません。どう育てていくかが重要であり、その基本はやっぱり毎日の食事なんです。うちでは「ペディグリー チャンム」で代々チャンピオン犬を育ててきました。お肉だけでは足りない栄養が理想のバランスで入っていますから、これだけで十分。いつもベストコンディションに保つことができます。何よりも、おいしんでしょ、みんな大好きなんです。まだ試していない方にも、ぜひお薦めしたいですね。」



「トップブリーダー推奨」™

ペディグリー チャンム®